



## 2. 各提言の改善状況

## (1) 是正勧告

No.	種 別	内 容
1	基準	基準2 内部質保証
	提言 (全文)	内部質保証の推進を担い、自己点検・評価の実施を担う組織として「自己点検評価委員会」を位置づけているものの、「教育研究評議会」の審議事項にも自己点検・評価が含まれており、役割分担が明確にされていない。また、自己点検・評価の結果に基づく学部・研究科等のPDCAサイクルの支援にあたっては、規程等に定めのない「天使学園朝会 (TMG)」が関与しており、内部質保証体制における組織間の役割・権限が整理されていない。このため、内部質保証のための方針・手続きを明文化し、有効な内部質保証システムを整備するよう是正されたい。
	大学評価時の状況	内部質保証の継続的な実現のために責任を負う全学的な組織として、自己点検評価委員会が組織されていた。自己点検評価委員会で指摘された事項に関して、全学的課題については教育研究評議会で検討していた。しかし、内部質保証については、規程に定めのない天使大学朝会 (TMG) が関与しており、内部質保証における役割や責任、権限が定まっていなかった。
	大学評価後の改善状況	2020年6月18日開催の教育研究評議会において、「天使大学内部質保証に関する基本方針」および「内部質保証推進規程」を制定し、内部質保証のための方針・手続きを明文化した。また、内部質保証の責任を担う組織として、自己点検評価委員会を廃止して内部質保証推進委員会を立ち上げた。(資料1-7、資料1-8、資料1-9) 内部質保証推進委員会は、「天使大学における内部質保証と教学の関連図」を作成し、教育・研究活動に関する最高責任者を学長、大学運営に関する最高責任者を理事長とする各組織の役割分担と責任を明確にした。(資料1-10、資料1-11)。 2020年度にIR室設置要項を制定し、2021年度か

		ら内部質保証推進委員会と連携し、IR室の活動が開始された。(資料 2- (1) -1-1、資料 2- (1) -1-2、資料 2- (1) -1-3) 2021 年度には、学習成果の評価のために、アセスメントポリシーを制定、学内外に公表し、教育活動の自己点検、評価の仕組みを整備した(資料 1-13)。
	「大学評価後の改善状況」の根拠資料	資料 2- (1) -1-1 2020 年度第 5 回教育研究評議会議事録 資料 2- (1) -1-2 天使大学 IR 室設置要項 資料 2- (1) -1-3 2021 年度年報内部質保証推進委員会報告事項
＜大学基準協会使用欄＞		
	検討所見	
	改善状況に関する評定	5      4      3      2      1

No.	種 別	内 容
2	基準	基準 5 学生の受け入れ
	提言 (全文)	看護栄養学研究科では、課程ごとの学生の受け入れ方針を設定していないため、これを定め公表するよう是正されたい。
	大学評価時の状況	看護栄養学研究科では、研究科としての学生の受け入れ方針を公表するだけに留まっており、課程ごとの学生の受け入れ方針については設定しておらず、公表していなかった。
	大学評価後の改善状況	認証評価結果を受け、2019 年 5 月 16 日開催の第 2 回研究科委員会で審議し、アドミッションポリシーを課程ごとに設定した。その後、天使大学大学院看護栄養学研究科 2020 年度大学案内及び 2020 年度学生募集要項にて公表した(資料 2- (1) -2-1、資料 2- (1) -2-2、資料 2- (1) -2-3)。
	「大学評価後の改善状況」の根拠資料	資料 2- (1) -2-1 2019 年度第 2 回研究科委員会議事録 資料 2- (1) -2-2 天使大学大学院看護栄養学研究科 2020 年度大学案内

		資料 2- (1) -2-3 2020 年度学生募集要項				
	<大学基準協会使用欄>					
	検討所見					
	改善状況に関する評定	5	4	3	2	1

## (2) 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準 4 教育課程・学習成果
	提言 (全文)	看護栄養学部栄養学科及び看護栄養学研究科栄養管理学専攻博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針に、教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方を示していないため、改善が求められる。
	大学評価時の状況	看護栄養学部栄養学科及び看護栄養学研究科栄養管理学専攻博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針に、教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方を履修要項やホームページにて示していなかった。
	大学評価後の改善状況	看護栄養学部栄養学科は 2020 年度履修要項に、看護栄養学研究科栄養管理学専攻博士後期課程は 2022 年度履修要項に、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを明記して示した。(資料 2- (2) -1-1、資料 2- (2) -1-2)。
	「大学評価後の改善状況」の根拠資料	資料 2- (2) -1-1 2020 看護栄養学部履修要項 資料 2- (2) -1-2 2022 大学院看護栄養学研究科履修要項
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に関する評定	5 4 3 2 1

No.	種 別	内 容
2	基準	基準 4 教育課程・学習成果
	提言 (全文)	看護栄養学部栄養学科及び看護栄養学研究科では、

	<p>学習成果の測定に関する組織的な検討が行われておらず、退学率や留年率、国家試験合格率等を用いて把握・評価するとしているが、これらの指標のみで学位授与方針に示した学習成果を十分に測定できているとはいえない。学習成果を効果的に測定するとともに、その結果を教育内容・方法の改善に生かしていくよう、全学的な検討に基づいて改善することが望まれる。</p>
大学評価時の状況	<p>栄養学科においては、学習成果に関する自己評価の実施の必要性を認識していたが、実施に至っていなかった。</p> <p>看護栄養学研究科においても、学習成果の測定を実施するための方法について、他大学等の情報収集を開始する状態にとどまっていた。</p>
大学評価後の改善状況	<p>看護栄養学部栄養学科において、2019 年度より学生による学習成果に関する自己評価を開始した（資料 2- (2) -2-1）。</p> <p>2020 年度栄養学科及び看護学科の学修成果に関する自己評価結果について、2021 年 10 月 4 日開催の教育研究評議会報告第 2 号及び 2021 年 10 月 12 日開催の教授会報告第 4 号で報告し、全学的に改善に向けて取り組むよう共有された。（資料 2- (2) -2-2、資料 2- (2) -2-3、資料 2- (2) -2-4）</p> <p>2020 年度より教員による科目ごとの自己評価も行われている。また、これらのデータは I R に集約し、看護栄養学部では教育課程の評価に繋げる仕組みが構築された（資料 2- (2) -2-5）。</p> <p>看護栄養学研究科栄養管理学専攻では、学習成果の測定を実施するために、2021 年度にリサーチルーブリック作成し、2022 年 2 月 15 日開催の研究科委員会審議第 6 号にて 2022 年度からリサーチルーブリックを運用して学習成果の測定を行うことが審議承認された（資料 2- (2) -2-6、資料 2- (2) -2-7）。</p> <p>看護栄養学研究科看護学専攻では、学生の学修成果の自己評価として、「D P 到達度ルーブリック」を試用することとした（資料 2- (2) -2-8、2- (2) -2-9、2- (2) -2-10）。</p>
「大学評価後の改善状況」の	資料 2- (2) -2-1 2019 年度栄養学科カリキュラム

根拠資料	アンケート 資料 2- (2) -2-2 2021 年度第 6 回教育研究評議会 議事録 資料 2- (2) -2-3 2021 年度第 6 回教授会議事録 資料 2- (2) -2-4 学修成果に関する自己評価結果 資料 2- (2) -2-5 2020 年度教員の自己評価総括評 価集計 資料 2- (2) -2-6 2021 年度第 10 回研究科委員会議 事録 資料 2- (2) -2-7 2022 年度看護栄養学研究科栄養 管理学専攻リサーチループリック 資料 2- (2) -2-8 2021 年度第 10 回大学院専攻会議 議事録 資料 2- (2) -2-9 大学院ループリック保健師コー ス 資料 2- (2) -2-10 大学院修論コース DP 自己評価表
＜大学基準協会使用欄＞	
検討所見	
改善状況に関する評定	5      4      3      2      1

No.	種 別	内 容
3	基準	基準 5 学生の受け入れ
	提言 (全文)	収容定員に対する在籍学生数比率について、看護栄 養学研究科修士課程で 0.32、助産研究科専門職学 位課程では 0.40 と低いため、大学院の定員管理を 徹底するよう、改善することが求められる。
	大学評価時の状況	オープンキャンパスの実施や在学生への周知など、 広報活動等積極的に実施していたものの、収容定員 に対する在籍学生数比率については看護栄養学研 究科修士課程で 0.32、助産研究科専門職学位課程 では 0.40 と低い状態であった。
	大学評価後の改善状況	入学生を増やすための広報活動として、オープンキ ャンパス、個別説明会、チラシ配布を進めた。また、 看護栄養学研究科では、2020 年度入学生から、本 学看護栄養学部卒業生に対する授業料等の減額措 置を行った (資料 2- (2) -3-1、資料 2- (2) -3-2)。

	その結果、看護栄養学研究科修士課程では、2018年度 0.44、2019年度 0.68、2020年度 0.56、2021年度 0.44、2022年度 0.56 となっており、助産専門職学位課程では、2018年度 0.41、2019年度 0.46、2020年度 0.53、2021年度 0.46、2022年度 0.51 となっており、改善しつつある（資料 2- (2) -3-3）。さらなる改善にむけて、全学的に取り組む。
「大学評価後の改善状況」の根拠資料	資料 2- (2) -3-1 2019 年度第 6 回理事会議案書 資料 2- (2) -3-2 2019 年度第 6 回理事会決議録 資料 2- (2) -3-3 大学基礎データ_表 2
＜大学基準協会使用欄＞	
検討所見	
改善状況に関する評定	5      4      3      2      1

No.	種 別	内 容
4	基準	基準 10 (1) 大学運営
	提言（全文）	キリストの基本的な考えについて理解を深めるために「教職員修養会」を実施しているものの、教員に対する大学運営のための研修等の機会は不十分である。そのため、今後、職員のみならず教員を含めて、大学運営を行うにあたり必要な知識等を向上させるための取り組みや研修の機会を設けるよう、改善が求められる。
	大学評価時の状況	教職員修養会にて教員・職員に対する研修会を実施していたが、大学運営のための研修会については、職員のみで行っており、教員を含めた実施には至っていなかった。
	大学評価後の改善状況	2020 年 4 月 1 日付けで天使大学ファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントに関する規程を施行した（資料 2- (2) -4-1）。2020 年 8 月に教育の質に係る客観的指標調査に関する研修会を実施し、2021 年 3 月及び 2022 年 3 月

	<p>には自己点検評価に係る活動報告会を全学的に実施して、教員を含めた大学運営に関する意識の向上と情報共有を図った（資料 2- (2) -4-2、資料 2- (2) -4-3、資料 2- (2) -4-4）。</p> <p>2021 年 9 月 1 日には大学の経営に係る知識を習得し、向上を図るために、2020 年度決算報告会及び監事報告のSD研修をオンラインで実施した（資料 2- (2) -4-5）。</p>
「大学評価後の改善状況」の根拠資料	<p>資料 2- (2) -4-1 天使大学ファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントに関する規程</p> <p>資料 2- (2) -4-2 教育の質に係る客観的指標調査進捗確認</p> <p>資料 2- (2) -4-3 2020 年度活動報告会資料</p> <p>資料 2- (2) -4-4 2021 年度活動報告会資料</p> <p>資料 2- (2) -4-5 2020 年度決算報告及び監事報告</p>
＜大学基準協会使用欄＞	
検討所見	
改善状況に関する評定	5      4      3      2      1

